

平成29年度北海道若年優秀技能者知事賞受賞者一覧

整理番号	表彰候補者氏名	職名	事績の概要
1	<p>近藤 祐介 ( 30 歳 )</p> 	鉄道車両組立工・修理工	<p>入社以来、気動車（ディーゼルカー）を構成する最も重要な機器の一つである機関（エンジン）の検査・修繕に携わり、鉄道車両製造・整備職種の走行装置整備作業で1級技能士を、電気装作業で2級技能士の資格を取得するなど、たゆまぬ努力で自己の技能レベルを向上させてきた。また、札幌地区溶接技術競技会に参加し、自己研鑽に努めており、若年ながらも短期間で各々の作業に必要な技術力を身につけており若手社員の中核を担っている。</p> <p>研修センターでは、新入社員研修の講師として3年間携わり、新人教育の場で他の技能者の模範となっている。</p> <p>また、職場内の優良提案において、機関変速機クラッチキャリア測定用治具の製作を提案して「銅賞」を受賞している。</p>
2	<p>関 陽平 ( 28 歳 )</p>	建築大工	<p>高校卒業後、札幌高等技術専門校に入校し、現在の勤務先である（有）タニグチの実際の現場で木造建築の学科・実技実習を受け、終了後も選りすぐれた技能を取得するために研さんに励み、1級技能検定に合格した。その後、技能検定補佐員に推薦される等、周囲からの期待も高い。</p> <p>高校在学中から目標としていた建築大工になるための技能取得に対し、時間を惜しまずに努力する姿は、他の若手技能者の模範であり、後輩の育成にも成果を上げている。また、職業訓練指導員の資格を取得し、後輩の訓練生に対しても熱心に指導を行っている。</p> <p>現場での作業効率を上げるため、手工具を使う伝統技能を継承しつつも電動工具で補えるところは積極的に採用し、作業時間の短縮及び製品品質の向上へとつなげている。</p> <p>札幌市建築業組合「技術技能士会」の中心人物であり、札幌市技能フェスティバルでは木製椅子の製作体験を通じて、来場者にもものづくりの楽しさや技能の素晴らしさを伝えている。</p>
3	<p>斎藤 了 ( 28 歳 )</p>	配電・制御装置組立工	<p>入社以来一貫してJR車両の電機部品の整備並びに配電盤製造業務に従事している。鉄道車両の複雑な作業内容を的確に理解して、技術技能を短期間で習得した。非常に向上心が高く、作業に必要な資格取得に積極的にチャレンジし、1級技能士をはじめ様々な資格を取得している。積極的に技能を吸収することで、自らの作業に生かすのはもとより、後輩の指導・育成にも力量を発揮し、作業現場の製造効率の向上、品質向上に尽力し成果を上げ、他社員の模範となっている。</p> <p>製品完成時の確認試験に必要な不可欠な試験装置を考案することで、効率よく正確な試験を行える改善を行った。日頃から積極的に業務の安全、品質・効率の向上に努めており、同僚のみならず顧客からも高い評価と信頼を得ている。</p>
4	<p>森 昌太 ( 30 歳 )</p>	ブロック積工	<p>平成21年にブロック積工見習いとして現在の勤務先に入社以来、意欲的に工事現場で専門知識と技能取得に努力し、1級技能士の資格を取得。ブロック積工でありながら、インターロッキングブロック、コンクリート平板、れんが積み工事等の施工技能を身につけるなど、技能の優秀性については、業界から高く評価されとともに、若手技能者の模範となっている。</p> <p>現在は若手職長として自らの技能を磨くとともに、現場の安全性、工事施工手順、正確性、工事施工のスピード化にも力を入れている。また、若手技能者の養成等に積極的に取り組み、技能検定受検者の奨励、実技指導等など、技能検定の合格率アップに貢献している。</p> <p>石狩地区ブロック建築技能士会青年部の行事にも積極的に取り組み、地域へのPRに大きく貢献している。</p>

整理 番号	表彰候補者氏名	職名	業績の概要
5	かみなが しょうご 神永章伍 ( 25 歳 ) 	酒類製造工	<p>入社以来、日本酒、焼酎、みりん、リキュール、その他の醸造酒と多種多様な酒類の製造に従事し、たゆまぬ努力により優れた技能を習得するとともに、企業の活性化、北海道酒造組合をはじめ業界の振興に大いに貢献している。</p> <p>平成19年に始まったニセコ町酒造好適米「彗星」「きたしずく」を原料とした地酒開発プロジェクトでは、生産組合と連携して「特別純米酒蔵人衆」の製造に携わり、同酒は平成29年度札幌市国税局新酒鑑評会純米酒の部で金賞を受賞している。</p> <p>平成27年には白老町のアイヌ民族博物館とともに行われたアイヌ民族伝統のお酒の復刻・製品化に携わり、平成28度北海道新技術・新製品開発賞において優秀賞を受賞した。また、平成29年の蘭越地酒開発プロジェクトでは、後志地域のブランド米「らんこし米ゆめびりか」の特性を生かし、酒造好適米原料の日本酒に劣らぬ純米吟醸酒を開発し、新たな地域特産品開発プロジェクトを成功に導いた。</p> <p>日本酒以外の多種多様な酒類の企画・開発と製造を行うことで、少子高齢化時代に適応できる多様性のある技能の取得と向上に不断の努力をし、他の模範となっている。</p>
6	きくち やすゆき 菊地安悠 ( 30 歳 )	金属材料製造検査工	<p>入社以来新日鐵住金室蘭製鉄所の鋼材の出荷検査作業に従事し、日々の努力により優れた技能の習得と安全作業を職場の先頭になって行い、若手のリーダーとして活躍している。</p> <p>鉄鋼の品質検査業務に必要とするすべての資格で1級を取得し、試験制度を管理する技術を身につけ、検査業務において信頼される試験データを顧客に提供している。これらの技術は、後輩への指導にも大いに役立ち、職場全体のレベルアップにもつながっている。</p> <p>また、矯正切断刃の修復改善により、高価な切断刃の再利用方法を考案しコスト削減につなげた。その他、電子顕微鏡での介在物の解析方法の改善など職場実態に合った改善を行い、事業所内で所長賞を獲得している。</p>
7	まつえ まさひろ 松江真大 ( 28 歳 )	金属材料製造検査工	<p>入社以来新日鐵住金室蘭製鉄所の鋼材の品質検査業務に従事し、日々の努力により優れた技能の習得と人材育成をするための教育を職場の先頭になって行い、若手のリーダーとして活躍している。</p> <p>鉄鋼の品質検査業務に必要とするすべての資格で1級を取得し、非常に信頼される試験データを提供している。</p> <p>職場では、「鋼球組織試験作業の確率」として、光沢のある鋼球を鮮明に撮影する独自の手法や、その鋼球から分析試料を採取する方法を考案するなど、積極的に改善活動を行い、事業所内で所長賞を獲得している。その他設備トラブルや担当以外の業務でも積極的に活動して成果を上げている。</p> <p>このように真摯に業務に取り組み、積極的に技術を取得する姿は後輩への指導にも大いに役立ち、若手技能者の模範となっている。</p>
8	はちや しろう 蜂谷史朗 ( 29 歳 ) 	板金工	<p>入社以来、建築板金、屋根、製作金物の仕事に従事し、先輩技能者からの教えを吸収しつつ技能を取得してきた。現在では多能工として技能は多岐にわたり、オールマイティにできる自信と技能を持っている。また、現場で使用しやすい道具を自ら考案したり、簡単な工夫から作業性や品質を大いに向上させたりして作業効率の向上にも努めている。</p> <p>1級技能士取得後は職長、主任技術者として現場の管理監督なども務め、施工上の技術提案も行い、高評価を得ている。後輩技能者に対しても、自分の技能を教えようと、休み時間などを利用して溶接器具の持ち方、角度等をわかりやすく教え、できばえ等の改善についても熱心に指導している。</p> <p>毎年行われる苫小牧港まつりでは、苫小牧地区技能士会の出店に参加し、技能士会の知名度アップに貢献するほか、建築板金技能士会がボランティアで行う道路清掃にも毎年参加している。</p>

整理 番号	表彰候補者氏名	職名	業績の概要
9	いずみだ ゆうと 泉 優人 ( 26 歳 ) 	板金工	入社以来、建築板金、屋根、製作金物の仕事に従事し、先輩技能者からの教えを吸収しつつ技能を取得してきた。現在では、多能工として技能は多岐にわたり、屋根工事の施工においてはどんな複雑な形状の屋根でも雨漏り、すがもりのない美観に優れた施工のできる自信と技能を持っている。また、持ち運びのしやすい道具を自ら考案するなどして作業効率の向上にも努めている。 1級技能士取得後は、職長、主任技術者として現場の管理監督にも務め、同僚後輩が働きやすい環境を整えるため、早めの出勤をして道具の手入れ、必要な資材や段取りを行っている。 毎年行われる苫小牧市貼るの大掃除では、建築板金技能士会の一員として欠かさず参加している。
10	おがさわら しんじ 小笠原 真二 ( 24 歳 ) 	配管工	入社以来配管工として従事し、各種技能講習会に積極的に参加するだし、高度な知識と施工技術を身につける努力を惜まず、常に技能の習得に励んでいる。2級技能士取得後は、より一層多様な設備工事に従事し、その技術力に監督管理者及び施工主から高い評価を得、業界で将来を嘱望されている。技能士重用制度により技能士登録を行い、公共工事にも携わり、施工のみならず管理的な業務も行っている。 平成27年から2年連続で技能五輪全国大会に配管職種で出場し、後輩技能者の模範となっている。職場では、適切な施工方法を提案、効率的な作業方法・手順を構成し、生産性の高い安全で高品質の建設生産を実現しており、真摯に技能のレベルアップを図る姿とともに他の技能者の模範となっている。 苫小牧管工事業協同組合で行っている水道週間などの行事の手伝いやボランティア活動を通じて社会活動に貢献するとともに管工事業界のPRに貢献している。
11	おがわ みずき 小川 瑞貴 ( 25 歳 )	れんが積工(築炉工)	入社以来築炉工として技能の研さんに努めている。技能の優秀性としては、築炉作業にとどまらず、多能工として各職種人材不足の中、積極的に作業効率に貢献している。上司や、先輩からの信頼を得ており、若年層のリーダーとして新人や後輩の指導を率先して行い、同年代の技能向上に向けた取り組みを積極的に行っている。また、難易度の高い作業にも積極的にチャレンジするなど高度な耐火物煉瓦積み等の技能を習得する努力も他の築炉工の模範となっている。 従前からの築炉作業方法を、最優先となる安全面を考慮して効率的に行えるようQC活動を活用しながら、リーダーとして上司や同僚とともに改善を行っている。 これら積極的な姿勢を評価され、労働組合役員として活躍しており、地元のイベントにも積極的に参加、事業所近隣の保育園の遊具修繕などのボランティア活動にも力を入れ、地域に貢献するとともに、築炉業界のPRを行っている。
12	よしだ りょうへい 吉田 諒平 ( 24 歳 ) 	型枠大工	入社以来型枠大工として従事しながら専門知識・技能習得のため、釧路高等技術専門校の鉄筋コンクリート施工科に入校、訓練を優秀な成績で修了した。道内の様々な現場に率先して出張して技能の更なる向上に努め、勤務成績も優秀で上司同僚の信頼も厚い。 事業所の後輩や外国人研修生の指導にも積極的にあたり、また平成26年度には北海道職業能力開発協会認定職業訓練生主張発表北海道大会で、型枠大工としての意気込みなど堂々と主張し、最優秀賞を受賞若手技能者の模範として活躍している。 現在は、釧路市内の住宅のみならず、公営住宅、農業用施設などの大規模な建築物の施工にあたっており、業界の発展に貢献している。